

こおりやま広域圏若手職員の感性を活かす
チャレンジ「新発想」研究塾 2023
を開講します



ターゲット 17.17 TEL：924-2021

2023年6月22日

郡山市政策開発部

政策開発課

課長 石橋 智之

SDGs ターゲット 17.17 「効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する」

研究塾のスタートにあたり、下記により開講式を行います。

- | | | |
|-------|---|--|
| 1 日 | 時 | 6月29日(木) 14時30分～14時50分 |
| 2 場 | 所 | 郡山公会堂 (郡山市麓山一丁目8-4) |
| 3 内 | 容 | ・塾生紹介
・市長講話
※開講式後、オリエンテーションを開催(基調講演、概要説明、初回打合わせ等) |
| 4 出席者 | | 郡山市長
こおりやま広域圏の若手職員 13名
(郡山市4名、須賀川市2名、二本松市1名、田村市2名、本宮市1名、大玉村1名、天栄村1名、浅川町1名) |

<こおりやま広域圏チャレンジ「新発想」研究塾>

住民ニーズを的確に捉え地域の魅力を高めた住民満足度の高いまちづくりを実現するため、住民生活を直視し、新しい発想のもと知恵と工夫を活かした実効性のある施策の調査研究を行うとともに、こおりやま広域圏の若手職員の政策形成能力の向上に資する研究塾です。

研究成果は1月に予定している報告会において、こおりやま広域圏の各市町村に提言されます。

【研究塾2023のポイント】

- 塾生の都合により対面とオンライン併用の調査研究を進めます。
- 研究分野「広域連携で解決すべき課題への取り組み」

【スケジュール】

6月：開講式→7月～1月：調査研究、先進地視察→1月：報告会

※ 過去の研究塾の取り組みはこちらからご覧いただけます

URL: <https://www.city.koriyama.lg.jp/site/koikiken/list153-418.html>

※QRコードご参照ください→



2024(令和6)年に郡山市は市制施行100周年を迎えます!!

ひらけ 未来へ こおりやま

こおりやま広域圏チャレンジ「新発想」研究塾2023について

1 チャレンジ「新発想」研究塾の趣旨等

○住民ニーズを的確に捉え地域の魅力を高めた住民満足度の高いまちづくりを実現するため、住民生活を直視し、新しい発想のもと知恵と工夫を活かした実効性のある施策の調査研究を行うとともに、こおりやま広域圏の若手職員の政策形成能力の向上に資する研究塾。

2 研究塾2023のポイント

- 「こおりやま広域連携中枢都市圏」の関係市町村の若手職員が、圏域全体の課題解決に取り組む。(合計13名:郡山市4名、須賀川市2名、二本松市1名、田村市2名、本宮市1名、大玉村1名、天栄村1名、浅川町1名)
- 塾生の都合に合わせてオンラインも併用し、調査研究の回数増、深堀を目指す。
- 研究分野【広域連携で解決すべき課題への取り組み】
開講式終了後、メンバー内で討議のうえ決定する。

3 メンバーの構成

- (1)年齢 概ね35歳以下の職員(令和5年4月1日現在)
- (2)人数
 - ・班構成:1班3~4名(班長1名、副班長1名、班員1~2名)
 - ・班数:3班
 - ・研究塾の代表、副代表各1名を選任
- (3)研究塾生決定方法
 - ・公募による募集

4 進め方・過去研究テーマ

【進め方】

研究テーマの設定→討議(調査研究)→先進地視察→報告会の実施(1月)

【過去研究テーマ】

2022年度

- ①創業・就業支援による若者が住みたいまちの実現:転出した若年層が地元に戻ってこない状況を改善するため、創業・就業支援の両面から施策を提案。(例:逆合同説明会や有償インターン等)
- ②こおりやま広域圏内への移住の促進:転入者を増やし、地域に活力を与えるため、「居住支援」「就労支援」「情報発信」の3面から移住促進策を提案。(例:二段階移住、ワーキングホリデーinこおりやま広域圏等)

【スケジュール】

6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月	
上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬
	開講式						交流会								報告会
調査・研究 先進地視察															